全国小学校キャリア教育研究協議会 通信 令和7年度 第6号

◎はじめに

全国的に猛暑が報じられておりますが、皆様方はいかがお過ごしでしょうか。

7月31日（木）8月1日（金）には第10回全国小学校キャリア教育研究協議大会が行われ、参加の皆様とキャリア教育について、多くの学びを共有することができました。

私が特に感じたことは、

「キャリア教育を学校全体で取り組むことで教職員の児童に対する見取りが豊かになる」ということです。

「学校での学び」は「将来とつながっている」と教職員が意識することで、児童の将来の姿を見通しながら、支援しようとするからだと私は思います。

児童が社会的にも職業的にも自立して生きていく力を身に付けられるよう、これからも児童を支えていきたいですね。

京都市立紫明小学校長 石田 淳

◎全国小学校キャリア教育研究協議会のホームページアドレスが変更になりました！

ツールバーのお気に入りに登録されている方は新しいアドレスに変更をお願いします。

全国小学校キャリア教育研究協議会　https://school-careereducation.com/

ホームページが新しくなり、更新や交流がしやすくなりました。

一方通行の情報発信ではなく、それぞれの地域の様子や研究会情報をできるだけ早く、こまめに更新し、双方向のやり取りが感じられる交流の場にしたいと考えています。ぜひ、皆様の地域の情報をお寄せください。

◎全国小学校キャリア教育研究協議会のお知らせ 多数のご参加をお待ちしています。

◇令和7年度全国小学校キャリア教育研究協議会福島大会

1 日時 令和7年12月5日（金）

2 場所 福島県棚倉町立棚倉小学校

◇令和7年度全国小学校キャリア教育研究協議会静岡大会

1 日時 令和8年2月6日（金）

2 場所 静岡市立中田小学校

全国小学校キャリア教育研究協議会　https://school-careereducation.com/
上記ホームページに、各学校の1次案内を載せています。ぜひご覧ください。

◎令和7年7月の研究会・研修会 報告

◇京都市生き方探究教育（キャリア教育）研修会が行われました。

1 日時 令和7年7月29日（火）9時30分～11時30分

2 場所 京都まなびの街生き方探究館

3 内容 生き方探究パスポート（キャリアパスポート）の取組・実践発表

～学びをつなぐ『生き方探究パスポート』の最新活用事例～

実践発表

①小学校「学校行事でつなぐ生き方探究パスポート」

通信第2号でも紹介した京都市立岩倉北小学校大嶋教諭の実践報告でした。学校行事を軸として、行事ノート、キャリアパスポートを作成することで自分を俯瞰、自己評価し自分の成長に気づく子どもの姿をご報告いただきました。詳しくは通信2号を参照ください。

https://school-careereducation.com/%E3%82%AD%E3%83%A3%E3%83%AA%E3%82%A2%E6%95%99%E8%82%B2%E9%80%9A%E4%BF%A1/

②小学校「中学校生活につなぐ生き方探究パスポートの活用」

京都市立西京極小学校山内教諭（前任校山ノ内小学校）での実践

キャリアパスポートにつながる記録を卒業前の2週間に集中して今の自分を見つめ、過去の自分と比べる楽しさに気づき、少しずつ書き足していき、卒業前の子どもたちが自身を見つめ自信を深めていくという実践のご報告でした。

③中学校「1年間を通した生き方探究パスポートの活用」

京都市立太秦中学校上原教諭の実践報告

中学校3年生の4月から卒業までの1年間の取組。どうすれば生徒自ら前向きに頑張れる姿と出会うことができるのか。そのために、心地よいプレッシャーと達成しようとする生徒の力を認め賞賛することの大切さに気付き、生徒が自身について語り、他者を理解し、次のステージの自分に向けてメッセージを送ることを中心としたご報告でした。

④中学校「つけたい力に着目した学年集会での振返り（ロイロノートを使用して）」

京都市立北野中学校酒井教諭の実践報告

今までいろんな場面で「〇〇力」というように、どんな力がついたかをずっと考えさせてきたが、なかなか今後にはつながっていなかった。今後自分がつけたいと思う力を考え、どうすればその力がつくと思うかを同じ思いを持つ人（教師、生徒）同士で交流した。ロイロノートを使うと書ける子が多く、今後の行動目標を考え行動することにつながり、パスポートに結び付いたという報告でした。

講演「YOU は、何しに学校へ？」

実践発表を受けてまとめに変えて、京都市教育委員会首席指導主事 三浦清孝先生
（全国小学校キャリア教育研究協議会2代目会長）のお話がありました。

30分というとても短い時間設定だったのですが、皆で解決していく課題を提示していただいたり、子どもの成長の軌跡について考えるきっかけをいただいたりしたお話でした。

・子どものやろうとする気持ちやがんばる気持ちのオン・オフは誰が決めているのか。
　一斉授業でしっかり前を向き、教師の言うことを聞くことがオンになるのか。
　オンもオフもどちらの姿にも目を向け、記録する児童理解が大切ではないのか。
　課題を可能性に学校づくりこそが大切ではないのか。

・実践発表①にもあるように、学校行事を軸として子どもの力を伸ばすことについて、教師は何を見、どこを伸ばしていけばいいのか、そのために行事をどのようにとらえ行っていけばいいのか。行事をばらばらのものと捉えるのではなく、それぞれの行事の積み重ねを意識し、また、学年を超えて、前年の取組や成長ををしっかりとらえ、次の学年の取組や成長に結びつけていくことの大切さについて教えていただきました。

普段なかなか人数が集まらない夏の研修会に80名を超える参加者があり、とても充実した夏季研修となりました。

◇滋賀県キャリア教育部会（会長 草津市立老上西小学校長 廣瀬智章）
研究主題「個別最適な学びを実現するためのキャリア教育の実践」
1 日時 令和7年7月30日（水）13時～16時30分
2 場所 滋賀県立男女共同参画センター G-NETしが
〒523－0891 滋賀県近江八幡市鷹飼町80－4
3 内容 ・小学校部会・中学校部会実践報告
・記念講演「キャリア教育の今とこれから」筑波大学教授 藤田晃之先生

上記案内をこのメールで発信したところ、京都をはじめ滋賀県以外からも多くの参加者があり、滋賀県の担当者を驚かせることになりました。内容の報告については、滋賀県から情報がいただけたら発信します。参加者からの感想として、大津市立瀬田小学校の取組では、児童自らが自分のやりたいことを見つけ、企画・準備をし、実行・実施するというとても主体的な児童の姿が伝わってきました。「こんなことをしたい」「こんな自分になりたい」という思いをとても大切にされていると思いました。中学部会の取組では、調査結果から分析したことを基にして、生徒へのピアサポートをしていくという、非常に計画的に進めておられることに感銘を受けました。筑波大学藤田先生の講演では、「キャリア教育の今とこれから」という題で、これまでのキャリア教育を振り返り確認できたり、今後の取組の指針となることを学んだりすることができました。京都、滋賀、東京での研修会や大会に連続参加された方もおられ、キャリア教育にどっぷりつかり、とても充実した5日間だったという感想を話されていました。

◇第73回進路指導・キャリア教育協議全国大会
第10回全国小学校キャリア教育研究協議大会が行われました。
1 日時 令和7年7月31日（木）・8月1日（金）
2 場所 国立オリンピック記念青少年総合センター

上記大会の報告は、季刊「進路指導・キャリア教育」に詳しく掲載されますので、本メールでは今のところ報告は控えさせていただきます。

◎編集後記

今回は第6号として夏休み前半に行われた京都、滋賀の研修会についてご報告させていただきました。第10回全国小学校キャリア教育研究協議大会に参加し、また、多くの仲間とつながることができました。そのつながりを大切にし、またどこかでお会いできたり、情報交流させていただいたりできることを願っています。このメールは本会主催の全国大会へ参加いただいた方、本会の会員が名刺交換させていただいた方などにお送りしています。配信中止をご希望される場合は、お手数ですが、その旨をご記入の上、本メールに返信をお願いします。

発行：全国小学校キャリア教育研究協議会
https://school-careereducation.com/

会長：石田 淳（京都市立紫明小学校）
https://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id＝101004

副会長：津田 利枝（荒川区立ひぐらし小学校）
https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/HIGURASHI-E/